精神保健福祉士国家試験受験資格

（福祉総合学部福祉総合学科）

精神保健福祉士国家試験受験資格

（福祉総合学部 福祉総合学科）

Ⅰ．精神保健福祉士とは

精神保健福祉士は，1997（平成９）年に誕生した精神保健領域のソーシャルワーカーの国家資格である。「精神保健福祉士の資格を定めて，その業務の適正を図り，もって精神保健の向上及び精神障害者の福祉の増進に寄与することを目的とする（第１条）」として精神保健福祉士の目的を定めた「精神保健福祉士法」（公布：平成９年12月19日法律第131号）には，次のように定義されている。

「精神保健福祉士とは，第28条の登録（氏名や生年月日などを国に登録する）を受け，精神保健福祉士の名称を用いて，精神障害者の保健及び福祉に関する専門的知識及び技術をもって精神科病院その他の医療施設において精神障害の医療を受け，又は精神障害者の社会復帰の促進を図ることを目的とする施設を利用している者の地域相談支援の利用に関する相談その他の社会復帰に関する相談に応じ，助言，指導，日常生活への適応のために必要な訓練その他の援助を行うことを業とする者をいう」（第２条）。

このように精神保健福祉士は，精神に障害をもつ方々の保健および福祉についての専門的知識や技術を用いて，社会に復帰するための相談援助を行う専門職であり，具体的には，①退院後の住居や就労や各種の給付制度などの相談に応じる。②支援制度をどう利用すべきかなど退院後の生活についての助言や指導を行う。③生活や金銭の自己管理および掃除，洗濯，買い物など日常生活への適応のための必要な訓練を行う。④家庭や職場，学校との連絡調整や手続きなどを援助するなどを実践する。

資格取得後の職域は拡大しており，精神科病院やクリニックなどの医療機関，保健所や保健センター，精神保健福祉センターなどの医療相談機関のほか，生活訓練施設や授産施設，福祉工場などの社会復帰施設，地域生活支援事業を行う施設，生活介護や自立訓練，就労移行支援を行う福祉サービス事業を行う施設，地域活動支援センター，ハローワーク，福祉事務所の相談窓口など，また，企業におけるメンタルヘルス活動や学校ソーシャルワークなど，多様な場面・領域での活躍が期待される。

Ⅱ．精神保健福祉士をめざすには

精神保健福祉士の資格を取得するには，本学で国家試験の受験資格を得た後に，年１回１月下旬に実施される精神保健福祉士国家試験を受験し合格しなければならない。

また，この受験資格を得るためには，福祉総合学部福祉総合学科ソーシャルサービスコースに

ある実習を含めた「厚生労働省の指定する科目」のすべての単位を取得（表１を参照）し，大学を卒業する必要（卒業見込みも可）がある。

表１にある厚生労働省の指定科目は，精神保健福祉士法（平成９年法律第131号）第７条第１号及び第２号の規定に基づいて定められた「精神障害者の保健及び福祉に関する科目を定める省令」（平成23年８月５日文部科学省・厚生労働省令第３号）による新しいカリキュラムであり，2012年（平成24）年４月１日より施行されている。学部および福祉教育センターで行う「国家試験説明会」に必ず出席して，受験科目などの確認を確実に行う必要がある。

1．表１にある本学開講科目のうち，「医学知識」「心理学」「社会学」「現代社会と福祉（職業指導を含む）」「地域福祉論」「福祉の財政と計画」「社会保障論」「生活保護論」「医療福祉」「権利擁護論」「障がい者福祉論」の11科目は社会福祉士受験資格と共通の科目である。
2．指定科目のうち「精神疾患とその治療」は，本学では「精神医学Ⅰ・Ⅱ」，「精神保健の課題と支援」は「精神保健学Ⅰ・Ⅱ」，「精神保健福祉援助演習（専門）」は「精神保健福祉援助演習」，「精神保健福祉援助実習指導」は「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ・Ⅱ」となり，さらに「精神保健福祉援助実習」は「精神保健福祉援助実習Ⅰ・Ⅱ」となっているため，それぞれⅠ・Ⅱともに単位取得が必要である。
3．精神保健福祉援助実習を行うにふさわしい学業成績（実習前年次終了時点でGPA3.0以上）を有していること。かつ学科の進級要件・実習要件を満たしていること。
4．表１にある本学開講科目のうち，「精神保健福祉援助実習Ⅰ・Ⅱ」の手続きや詳細については「実習説明会」において指示があるので必ず出席し，特に，手続きの遅れや提出書類に不備がないようにすることが必要である。なお，実習の登録費については３年次に別に定める額を納入する必要がある。

精神保健福祉士国家試験の合格基準は総得点の60％を基準としており，過去５年の合格率はおおむね60％である。現役での合格を目指すには，まず授業に出席し，基本となる精神保健福祉の概念や用語を理解することが必要である。さらに，その上に受験対策としてのテクニックを含めた学習を積み上げることが望ましい。そのため１・２年次より計画的に，継続的に学習を進め，３・４年次には別に設けられる受験対策講座などを積極的に活用することが合格への近道となる。また，受験勉強の具体的方法については，コースの教員や福祉教育センターが相談に応じるので積極的に活用すること（詳細は107頁を参照）。

具体的な履修科目について，参考として「精神保健福祉士履修標準モデル」を表２（臨床心理モデル）に示す。現場で役立つ心の専門職となるために臨床心理学関連科目も同時に履修していくことが望ましい。参考までに，表３に社会福祉士同時取得モデルも示す。

Ⅲ．精神保健福祉士取得に必要な単位の取得

精神保健福祉士指定科目（表１）

厚生労働省による法令指定科目		本学開設科目			備　考
科　目　名	単位	科　目　名	単位	履修年次	
①人体の構造と機能及び疾病※		医学知識※	2	1・2	
②心理学理論と心理的支援※		心理学※	2	1・2	
③社会理論と社会システム※		社会学※	2	1・2	
④現代社会と福祉※		現代社会と福祉(職業指導を含む)※	4	1・2	
⑤地域福祉の理論と方法※		地域福祉論※	4	1・2	
⑥福祉行財政と福祉計画※		福祉の財政と計画※	2	1・2	
⑦社会保障※		社会保障論※	4	2・3	
⑧低所得者に対する支援と生活保護制度※		生活保護論※	2	2・3	
⑨保健医療サービス※		医療福祉※	2	2・3	
⑩権利擁護と成年後見制度※		権利擁護論※	2	2・3	
⑪障害者に対する支援と障害者自立支援制度※		障がい者福祉論※	4	1・2	
⑫精神疾患とその治療	4	精神医学Ⅰ	2	1・2	
		精神医学Ⅱ	2	2・3	
⑬精神保健の課題と支援	4	精神保健学Ⅰ	2	2・3	
		精神保健学Ⅱ	2	2・3	
⑭精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）	2	相談援助の基礎と専門職	4	1・2	
⑮精神保健福祉相談援助の基盤（専門）	2	精神保健福祉援助技術総論	4	1・2	
⑯精神保健福祉の理論と相談援助の展開	8	精神科リハビリテーション学	4	2・3	
		精神保健福祉援助技術各論	4	2	
⑰精神保健福祉に関する制度とサービス	4	精神保健福祉制度論	4	2	
⑱精神障害者の生活支援システム	2	精神保健福祉論	2	2	
⑲精神保健福祉援助演習（基礎）	2	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	2	
⑳精神保健福祉援助演習（専門）	4	精神保健福祉援助演習	2	3	
		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1	2	
㉑精神保健福祉援助実習指導	6	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	2	3	
		精神保健福祉援助実習Ⅰ	4	3	
㉒精神保健福祉援助実習	7	精神保健福祉援助実習Ⅱ	3	3	

①～⑪の※印を付した科目は社会福祉士指定科目と共通した科目である。

※精神保健福祉士指定科目を履修し，福祉総合学科を卒業した学生は，社会福祉主事，児童指導員の各資格を取得できる。ただし，これらの資格は，専門機関・施設で担当職員として任用された後に有効となる任用資格である。

精神保健福祉士履修標準モデル（臨床心理モデル）（表２）

科目群	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
学科共通科目群 Ⅰ（語学）・Ⅱ（情報）	Fundamentals of English Ⅰ②* 情報メディア演習Ⅰ②*			
キャリア形成科目群 （この科目群の中より ④単位以上選択必修）	基礎ゼミａ①* 基礎ゼミｂ①* 福祉疑似体験② 地域ボランティア研修②		ゼミナールⅠａ①* ゼミナールⅠｂ①*	ゼミナールⅡａ①* ゼミナールⅡｂ①*
専門基礎科目群 （この科目群の中より ⑥単位以上選択必修）	地域ボランティア論② ジェンダーと福祉社会②	福祉まちづくり論②		
専門科目群Ⅰ （福祉関連科目） 精神保健福祉士 選択科目	医学知識②※ 心理学②※ 社会学②※ 現代社会と福祉（職業指導を含む）④※ 相談援助の基礎と専門職④※ 障がい者福祉論④※ 精神医学Ⅰ② 精神保健福祉援助技術総論④ ソーシャルワークの基礎①	生活保護論②※ 精神医学Ⅱ② 精神保健学Ⅰ② 精神保健学Ⅱ② 精神保健福祉論② 精神保健福祉制度論④ 精神保健福祉援助技術各論④ 精神科リハビリテーション学④ ソーシャルワーク演習Ⅰ② 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ①	社会保障論④※ 医療福祉②※ 権利擁護論②※ 福祉の財政と計画②※ 地域福祉論④※ 精神保健福祉援助実習Ⅰ④ 精神保健福祉援助実習Ⅱ③ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ②	精神保健福祉援助演習②
	高齢者福祉論④	子ども家庭福祉論④	社会調査② 福祉経営論② 就労支援① 司法福祉①	
専門科目群Ⅰ （福祉関連科目）	臨床心理学② 介護の知識と技術②	認知心理学② 人格心理学② 社会心理学② 社会福祉専門研究Ⅰ② くすりの知識②	心理療法論② 医療ソーシャルワーク論④ 社会福祉専門研究Ⅱ②	心理テスト論② 社会福祉応用研究Ⅰ② 社会福祉応用研究Ⅱ②
年次単位数	47	41	39	10
累積単位数	47	88	127	137

○のなかの数字は単位数を表す。
*印を付した科目は学部の必修科目である。
※印を付した科目は社会福祉士指定科目と共通した科目である。

精神保健福祉士履修モデル（社会福祉士同時取得モデル）（表３）

科目群	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
学科共通科目群 Ⅰ（語学）・Ⅱ（情報）	Fundamentals of English Ⅰ②* 情報メディア演習Ⅰ②*			
キャリア形成科目群 （この科目群の中より ④単位以上選択必修）	基礎ゼミａ①* 基礎ゼミｂ①* 福祉疑似体験② 地域ボランティア研修②		ゼミナールⅠａ①* ゼミナールⅠｂ①*	ゼミナールⅡａ①* ゼミナールⅡｂ①*
専門基礎科目群 （この科目群の中より ⑥単位以上選択必修）	地域ボランティア論② ジェンダーと福祉社会②	福祉まちづくり論②		
専門科目群Ⅰ （福祉関連科目） 精神保健福祉士 選択科目	医学知識②※ 心理学②※ 社会学②※ 現代社会と福祉（職業指導を含む）④※ 相談援助の基礎と専門職④※ 障がい者福祉論④※ 精神医学Ⅰ② 精神保健福祉援助技術総論④	生活保護論②※ 精神医学Ⅱ② 精神保健学Ⅰ② 精神保健学Ⅱ② 精神保健福祉論② 精神保健福祉制度論④ 精神保健福祉援助技術各論④ 精神科リハビリテーション学④ ソーシャルワーク演習Ⅰ② 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ①	社会保障論④※ 医療福祉②※ 権利擁護論②※ 福祉の財政と計画②※ 地域福祉論④※ 精神保健福祉援助実習Ⅰ④ 精神保健福祉援助実習Ⅱ③ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ②	精神保健福祉援助演習②
専門科目群Ⅰ （福祉関連科目） 社会福祉士選択科目	高齢者福祉論④ ソーシャルワークの基礎① ソーシャルワークの基礎実習指導① 介護の知識と技術②	ソーシャルワーク論Ⅰ④ ソーシャルワーク実習⑥ ソーシャルワーク実習指導② 社会福祉専門研究Ⅰ② くすりの知識②	福祉経営論② 子ども家庭福祉論④ 社会調査② 就労支援① 司法福祉① ソーシャルワーク演習Ⅱ② 社会福祉専門研究Ⅱ②	医療ソーシャルワーク論④ 社会福祉応用研究Ⅰ② 社会福祉応用研究Ⅱ②
年次単位数	46	43	39	12
累積単位数	46	89	128	140

○のなかの数字は単位数を表す。
*印を付した科目は学部の必修科目である。
※印を付した科目は社会福祉士指定科目と共通した科目である。